

平成26年度 事業実施報告書

一般社団法人北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	インターカレッジ・コンペティション〈学生による地域活性化企画コンペ〉	事業経緯	継 続	実施体制	協 力	担当所属	富山支所
事業名 (大項目)	地域づくり活動促進事業	分類名 (中項目)	地域活性化・振興支援事業		事業区分	表彰、コンクール	

1. 事業目的

富山県立山町の産業振興や地域活性化、地域ブランド構築などの分野で、全国の大学生による地域おこし事業のアイデアを競うもので、学生に対し資質向上に適う実学の間を提供する一方、斬新な発想と理論に裏付けされたアイデアを町の活性化につなげることを目的とする。

2. 事業実施体制

主 催：立山町
共 催：立山町観光協会、立山黒部アルペンルート広域観光圏協議会
協 力：一般社団法人 北陸地域づくり協会 ほか

3. 事業実施概要

1. スケジュール

- ・4～5月：参加大学の募集
- ・6～7月：概要説明会（大学にて町の現状及び課題について説明）
- ・8～9月：町内にてフィールドワーク活動（町担当課及び町内事業所ヒアリング）
- ・11月：レポート提出
- ・11月30日～12月1日：プレゼンテーション予選、本選

2. 募集要項

参加資格：所属大学に引率教員を有する大学生、大学院生
及び国立高等専門学校専門課程の学生
参加条件：ゼミ単位で申し込むこと（同一ゼミで複数の応募については要相談）

3. 参加校

9大学12チーム
跡見学園女子大学、桜美林大学、近畿大学、昭和女子大学、
千葉工業大学、東海大学、獨協大学、富山大学、明治大学

4. 審査

- ・フィールドワーク終了後にレポート提出（A4判10枚程度）
- ・レポート、プレゼンテーションの合計点で順位を決定
- ・審査員：立山町長、農林水産省、観光庁ほか計6名

4. 事業実施による効果（評価・貢献度等）

平成24年度からスタートして今回が3回目。フィールドワークにおいて学生が町内各事業所へヒアリングに出向き、地域住民と交流することによって、学生においては地域の抱える問題点を学ぶことができ、町民においては若い世代が見た感じた町の実状を知る良い機会となった。

レポート、プレゼンテーションでは、地域経済、福祉、観光、公共交通等さまざまな観点からの新しい発想による提案が多く、今後の町の活性化を推進する手段として参考とすることができる有意義な取り組みとなった。

最優秀提案者となった獨協大学・遠藤ゼミの提案の一部について、次年度に実証実験を行うこととしており、このことが官学連携した実現性のある地域貢献として、新しい事業展開の可能性に期待がもてる。



フィールドワーク



町長へのヒアリング



プレゼンテーション



最優秀チーム
(獨協大学)

